

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国よりも高く、高い定着がみられます。特に「書くこと」については、全国平均を大きく上回っています。引用して、自分の考えが伝わるように書くことについては、高い定着があり、根拠を示しながら自分の考えを伝える学習を日頃から大切にしている成果が表れています。一方で「情報の扱い方に関する事項」については全国をやや下回り課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は全国とほぼ同等であり、一定の定着がみられます。特に「測定」については、全国平均を上回っています。示された情報を基に、数量の関係に着目して条件に合う時間を求めることに高い定着がみられます。一方で「図形」については全国を下回り課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「将来の夢や目標を持っていますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って文章を作成する、情報を収集し整理する、発表のスライドを作る等をできると思いますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をする」とした児童の割合が低いです。
「普段、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン、タブレット、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか」という質問に対して約半数が2時間以上と回答し、さらに2割が1時間以上と回答しています。
「学校の授業以外に、普段、PCやタブレットを勉強のために30分以上使っている」とした児童の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・国語の「情報の扱い方に関する事項」の学習では、情報と情報との関係について理解したり、図などを使って語句と語句との関係を表したりする活動を取り入れます。
- ・算数の「図形」の学習では、日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して調べたい数量を求め、数や言葉を用いて記述する活動を取り入れます。
- ・学校の授業で身に付けたICTのスキルを活用して、家庭学習でも様々な課題に取り組めるようにしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を参考に、学習の目的を達成するための内容や必要な勉強時間等を、一緒に考える機会をできる範囲でつくってください。
- ・スマートフォンやタブレット等の使用について、家庭で話し合い、ルールを決めて守らせるようにしましょう。
- ・子どもの挑戦や成長を温かく見守り、認め励ます等、学習意欲が高まるような声かけをお願いします。